

業 務 棚 卸 表 (総 括 表)

年度	平成16年度	作成日	平成16年6月8日
所属名	広報情報課		
所属コード	012050	作成者	早川雅俊
評価日	平成17年6月17日	評価者	中濱正明

戦略プラン	柱	コード	項目の内容
	基本目的	9	行政機能が高くなる
	行動目標	9-1	社会ニーズに対応した行政運営を行う

		成果・活動指標	実績(平成14年度)	実績(平成15年度)	実績(平成16年度)	目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度
上位目的	市民の市政への関心が深まる。	市政への関心度、満足度 (市政アンケート)	広報広聴 満足度 3 (普通) 関心度 5 (低い)	広報広聴 満足度 3 (普通) 関心度 5 (低い)	広報広聴 満足度 19.2 (かなり満足) 関心度 41.7 (非常に高い)	広報広聴(H16) 満足度 6 (ほぼ満足) 関心度 10 (普通)	A		
任務目的	市政情報を分かりやすくタイムリーに市民に周知する。	広報紙の閲読度 テレビの視聴率 ホームページ利用率 ラジオの聴取率	閲読度 93パーセント 視聴率 43パーセント 利用率 12パーセント 聴取率 7パーセント	閲読度 95パーセント 視聴率 38パーセント 利用率 15パーセント 聴取率 6パーセント	閲読度 89.9パーセント 視聴率 40.6パーセント 利用率 10.1パーセント 聴取率 7.9パーセント	(H16) 閲読度 96パーセント 視聴率 45パーセント 利用率 20パーセント 聴取率 8パーセント	A	100%	☆☆
任務に対する評価の説明	これまでの取り組みと成果、手段の妥当性 これからの課題、施策・事業展開の方向性	広報計画に基づき、各種の広報活動を行ったところ、全体的に実績値が目標を下回った。しかし、任務目的の達成に向けた手段としては、有効性が認められる。今後とも、効果を上げるために各広報媒体の特性を生かした企画、編集に取り組み、市の施策や情報をタイムリーで分かりやすく提供していく必要がある。 目標値を下回ったが、テレビやラジオの視聴率・聴取率が平成15年度に比べて向上している。このことは、市の広報番組の認識度が伸びてきているものであり、これまで以上に企画、編集面で工夫を行い、市民が知りたい情報、知るべき情報を積極的に提供していく。また、ホームページの充実を図るとともに、報道機関への効果的な情報の提供に努める。課題は、目的達成に向けて各広報媒体を活用し広報活動を行っているが、市の施策や情報が市民に十分に伝わっているか効果測定することが難しいことである。							

任務目的が2つ以上ある場合は合計が100%となるよう設定してください。	
シート名	業務割合
Sheet1	70%
Sheet2	30%
合計	100%

総労働時間数	17,903
所属正職員人数	7
# (管理職を除く)	4
年間所定労働時間数	1,944
所属平均時間外数(月平均)	27.0
所属平均年休、夏特日数	15.7
全嘱託職員労働時間数	1,944
全臨時職員労働時間数	1,944

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標	実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度	基本的な手段に対する評価の説明
		事業名(小分類)	枠配分対象事業	H15年度決算額(千円)	H16年度予算現額(千円)	H16年度決算額(千円)	決算(H16-H15)差引増減(千円)				
01	「広報よっかいち」の発行	閲読度		95パーセント	89.9パーセント	96パーセント(H16)	A	30%	☆☆☆	閲読度は目標を6%下回った。市政アンケートの結果から、20歳代、30歳代で平均値より下回るが、40歳代～70歳代では90%以上の数値を示している。このことは、市民に広報紙が定着してきていると考えられる。今後は、若年層にも親しまれるように、タイムリーで分かりやすい企画、編集に努める。	
		広報刊行物発行費(印刷製本)	○	55,486	55,293	53,822	△ 1,664	55,293			
		広報刊行物発行費(広報紙制作業務委託)	○	12,359	11,116	10,635	△ 1,724	11,116			
		小計		67,845	66,409	64,457	△ 3,388	66,409			37%
02	CTYによる広報	視聴率		38パーセント	40.6パーセント	45パーセント(H16)	A	20%	☆☆☆	視聴率は目標を10%下回った。市政アンケートの結果から、20歳代、40歳代で50%以上を示しているものの、60歳代で38%、70歳代で22%と落ち込んでいる。今後は、あらゆる年代に、よくわかり楽しんでいただけるようなテーマの選定や企画などを検討し、視聴率の向上に努める。	
		情報発信事業費(市政情報提供番組制作・放送委託)	○	23,937	21,000	21,000	△ 2,937	21,000			
		情報発信事業費(共同受信地域番組放送委託)	○	1,900	1,586	1,584	△ 316	1,586			
		小計		25,837	22,586	22,584	△ 3,253	22,586			13%
03	インターネットによる広報	アクセスページ件数		7,772,502	10,500,000	9000000(H16)	B	15%	☆☆☆☆	アクセス件数(ページ数)は目標を上回ったものの、市政アンケートの結果から、利用率は意外と伸び悩んでいる。今後は、検索しやすくだれもが使いやすいホームページの構築に向けて改善を図っていく。	
		情報発信事業費(情報提供委託)	○	9,430	9,106	9,106	△ 324	9,106			
		小計		9,430	9,106	9,106	△ 324	9,106			5%
04	FMラジオによる広報	聴取率		6パーセント	7.9パーセント	8パーセント(H16)	A	15%	☆☆☆	聴取率は目標を1%下回ったが、コミュニティFMとしての認知度は上がってきていると考えられる。今後は、ラジオの持つ即時性(ニュースや防災時などの緊急放送)、安価な放送制作費など、特性を生かした番組づくりを行い、聴取率の向上に努める。	
		情報発信事業費(コミュニティFM情報番組制作・放送委託)	○	7,578	6,226	6,211	△ 1,367	6,226			
		小計		7,578	6,226	6,211	△ 1,367	6,226			4%
05	パブリシティの活用	報道・掲載数		1,460	2,652	1600(H16)	B	10%	☆☆☆☆	報道機関による新聞等への掲載数は、目標を大きく上回った。記者会見54回(うち定例記者会見30回)を含む資料提供を625回行ったことによるものと考えられる。今後も、積極的にタイムリーで効果的な情報の提供に努めていく。	
		広報広聴事務費(記者クラブファクス借り上げ)		76	76	31	△ 45	76			
		広報広聴事務費(記者クラブ事務費)	○	409	502	405	△ 4	502			
		小計		485	578	436	△ 49	578			0%

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標	実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度	基本的な手段に対する評価の説明
		事業名(小分類)	枠配分対象事業	H15年度決算額 (千円)	H16年度予算現額 (千円)	H16年度決算額 (千円)	決算(H16-H15)差引増減 (千円)	H16年度一般財源 (千円)	H16年度予算額割合		
2桁											
06	その他の広報活動	-----	----	----	----	----	----	0%			名所、地場産品などをデザインした名刺を作成し、今後も市のPRに努めていく。
		情報発信事業費(さるびあコール)	廃	2,268	0	0	△ 2,268	0			
		情報発信事業費(デザイン名刺作成事業)	○	206	0	122	△ 84	0			
		小計		2,474	0	122	△ 2,352	0	0%		
07	三重テレビによる広報	-----	----	----	----	----	----	0%			
		情報発信事業費(民放番組制作・放送委託)	廃	1,152	0	0	△ 1,152	0			
		小計		1,152	0	0	△ 1,152	0	0%		
90	内部業務							10%			
		負担金・補助金									
		三重県都市広報協議会負担金	○	10	5	5	△ 5	5			
		日本広報協会会費	○	0	42	42	42	42			
		職員研修参加費負担金	○	36	36	31	△ 5	36			
		小計		46	83	78	32	83	0%		
		その他									
		広報広聴事務費(広報情報課・その他)	○	1,588	1,229	1,227	△ 361	1,229			
		小計		1,588	1,229	1,227	△ 361	1,229	1%		
		人件費									
		一般職給		71,247	61,789	65,673	△ 5,574	61,789			
		再任用職給		3,507	3,472	1,672	△ 1,835	3,472			
		嘱託職給		3,241	3,025	2,957	△ 284	3,025			
		小計		77,995	68,286	70,302	△ 7,693	68,286	40%		
		中計		79,629	69,598	71,807	△ 8,022	69,598	41%		
		合計		194,430	174,503	174,523	△ 19,907	174,503	100%		

業 務 棚 卸 表 (総 括 表)

年度	平成16年度	作成日	平成16年6月8日
所属名	広報情報課		
所属コード	012050	作成者	早川雅俊
評価日	平成17年6月17日	評価者	中濱正明

戦略プラン	柱	コード	項目の内容
	基本目的	9	行政機能が高くなる
	行動目標	9-2	公正で効率的な行政運営を行う

	成果・活動指標	実績(平成14年度)	実績(平成15年度)	実績(平成16年度)	目標(目標年度)	困難度	業務割合	達成度
上位目的	積極的な情報公開により、市民の知る権利が保障され、政策意図、手段が明確になる。	開示率 (開示件数÷決定件数) 78.6パーセント	81.9パーセント	80.0パーセント	85パーセント(H16)	A		
任務目的	情報公開制度の円滑な運用 市政情報センターでの情報提供の充実	開示請求に対する決定処理日数 来館者数 3,805人	15.0日 3,855人	14.0日 3,927人	14日以内(H16) 4,000人(H16)	B	100%	☆☆☆
任務に対する評価の説明	これまでの取組と成果、手段の妥当性 これからの課題、施策・事業展開の方向性	<p>情報公開条例に基づく積極的な公文書の開示(公開)と審議会等の会議公開、市政情報センターでの情報提供を実施してきた。3つの成果・活動指標ともに概ね目標水準に達しており、特に「開示請求に対する決定処理日数」については、即日開示を実施したことなどの要因により目標を達成した。また「開示率」については前年度実績を若干下回ったものの、全部開示の決定件数は最も多い実績を残している。今後とも請求者が真に求める情報の把握に努めるなど、市民のニーズに応えるよう取組みを行ってきたい。</p> <p>開示請求件数の増加傾向は続くものと思われ、それに加えて大量請求や複数の課にまたがる請求など複雑なケースも増加するものと考えられる。情報公開制度の適正な運用に努めるとともに、市民啓発と職員研修を充実する必要がある。市政情報センターは市政に関する資料の閲覧、刊行物の販売のほか、インターネットによる情報提供などを積極的に行っているが、市民のさらなる利用を促進するため、一層利用しやすいセンターづくりに努める必要がある。</p>						

業務コード	目的達成に必要な主な手段	活動指標		実績(平成15年度)		実績(平成16年度)		目標(目標年度)	困難度	業務割合		達成度	基本的な手段に対する評価の説明
		事業名(小分類)	枠配分対象事業	H15年度決算額(千円)	H16年度予算現額(千円)	H16年度決算額(千円)	決算(H16-H15)差引増減(千円)			平成16年度一般財源(千円)	H16年度予算額割合		
01	情報公開制度の運用・管理	法定処理日数		15.0日		14.0日		14日以内(H16)	B	80%		☆☆☆	期限内処理率は100パーセントを達成している。今後とも、適切な助言・指導を行い、その維持に努めるとともに、「提供」の充実もあわせて、市民のニーズに一層応えられるよう努めたい。
		情報公開審査会委員報酬	○	935	960	640	△ 295	560					
		市政情報提供経費(情報公開審査会委員旅費)	○	28	50	19	△ 9	50					
		市政情報提供経費(情報公開審査会飲料)	○	7	9	7	0	9					
		小 計		970	1,019	666	△ 304	619	61%				
02	市政情報センターの運営	来館者数		3,855人		3,927人		4,000人(H16)	B	20%		☆☆☆	利用者のニーズに応えられるよう、資料の充実にも努めるとともに、情報の鮮度にも気を配り、利用者が求める情報にアクセスしやすい環境づくりにも努めたい。
		市政情報提供経費(市政情報センターでの各種サービス)	○	312	357	422	110	357					
		市政情報提供経費(職員旅費)	○	0	10	4	4	10					
		小 計		312	367	426	114	367	39%				
		合 計		1,282	1,386	1,092	△ 190	986	100%				